

## エンペラシン配合錠

### 【この薬は？】

販売名	エンペラシン配合錠 Emperacin Combination Tablets	
一般名	ベタメタゾン Betamethasone	d-クロルフェニラミンマレイン酸塩 d-Chlorpheniramine Maleate
含有量 (1錠中)	0.25mg	2mg

### 患者向医薬品ガイドについて

**患者向医薬品ガイド**は、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」  
<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

### 【この薬の効果は？】

- ・この薬は、副腎ホルモン配合剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、炎症やアレルギーを抑え、症状を改善します。ただし、病気の原因そのものを治す薬ではありません。
- ・次の病気の人に処方されます。  
**蕁麻疹（慢性例を除く）、湿疹・皮膚炎群の急性期及び急性増悪期、薬疹、アレルギー性鼻炎**
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を減らしたりすると、発熱、頭痛、食欲不振、脱力感、筋肉痛、関節痛、ショックなどの症状があらわれることがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

## 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にエンペラシン配合錠に含まれる成分に対し過敏な反応を経験したことがある人
- ・緑内障の人
- ・前立腺肥大など下部尿路に閉塞性の疾患がある人

○次の人は、原則として、この薬を使用することはできません。

- ・有効な抗菌剤のない感染症にかかっている人
- ・全身の真菌症にかかっている人
- ・結核にかかっている人
- ・消化性潰瘍のある人
- ・精神病の人
- ・単純疱疹性角膜炎の人
- ・後嚢白内障の人
- ・高血圧の人
- ・電解質異常のある人
- ・血栓症の人
- ・最近、内臓の手術を受けた人
- ・急性心筋梗塞を起こした人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・感染症にかかっている人
- ・糖尿病の人
- ・骨粗しょう症の人
- ・腎不全の人
- ・甲状腺機能が低下している人
- ・肝硬変の人
- ・脂肪肝の人
- ・脂肪塞栓症の人
- ・重症筋無力症の人
- ・高齢の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使い方は？】

### ●使用量および回数

飲む量と回数は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人は、1回1～2錠を1日1～4回飲みます。

### ●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

### ●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

## ●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・眠気を催すことがあるので、自動車の運転等危険を伴う機械の操作をしないでください。
- ・水痘（みずぼうそう）または麻疹（はしか）に感染すると致命的な経過をたどることがあります。感染が疑われる場合はただちに受診してください。
- ・この薬を連用した後、急に飲むのを中止すると、発熱、頭痛、食欲不振、脱力感、筋肉痛、関節痛、ショックなどがあらわれることがあります。中止する場合は徐々に減量されます。医師の指示どおりに飲んでください。
- ・B型肝炎ウイルスキャリアといわれている人は、この薬の使用途中や使用終了後に継続して血液検査が行われます。発熱、倦怠感（けんたいかん）、皮膚や白目が黄色くなるなどの症状があらわれた場合には、速やかに医師に連絡してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳を避けてください。
- ・アルコール飲料はこの薬に影響しますので、控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

## 副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
誘発感染症、感染症の増悪 ゆうはつかんせんしょう、かんせんしょうのぞうあく	かぜのような症状、からだがだるい、発熱、嘔吐  〔B型肝炎ウイルスの増殖による肝炎としてあらわれる場合〕 吐き気、嘔吐、食欲不振、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる
続発性副腎皮質機能不全 ぞくはつせいふくじんひしつきのうふぜん	からだがだるい、吐き気、嘔吐、力が入らない、食欲不振、低血圧
糖尿病 とうりょうびょう	のどが渇く、疲れやすい、尿量が多い、体重減少
急性副腎不全 きゅうせいふくじんふぜん	からだがだるい、嘔吐、低血圧、食欲不振、考えがまとまらない、意識の低下、判断力の低下
消化性潰瘍 しょうかせいはいよう	腹痛、胸やけ、胃もたれ、背部痛
膵炎 すいえん	胃・おなかの激しい痛み、吐き気、背中への痛み、嘔吐

重大な副作用	主な自覚症状
精神変調 せいしんへんちょう	気分が落ち込む、夜中に目がさめる、眠りが浅い、食欲不振、情緒不安、考えがまとまらない、気分がふさぎ込む、やる気がおきない、ぼんやりする、どうしたらよいかわからない、からだがだるい、上機嫌
うつ状態 うつじょうたい	やる気がおきない、気分が落ち込む、気分がふさぎ込む、不眠
痙攣 けいれん	けいれん
錯乱 さくらん	意識の混乱、意識が乱れる、考えがまとまらない
骨粗鬆症 こつそしょうしょう	腰・背中の痛み、骨折しやすくなる、手足の痛み
ミオパシー ミオパシー	筋肉の痛み、筋力の低下、筋肉のこわばり
大腿骨及び上腕骨等の骨頭無菌性壊死 だいたいこつおよびじょうわんこつな どのこつとうむきんせいえし	膝の関節の痛み、歩行障害、太もも前面の痛み、関節の痛み、歩くときや立ち上がる時の股関節の痛み
緑内障 りょくないしょう	吐き気、眼の痛み、視力の低下、頭痛
後嚢白内障 こうのうはくないしょう	眼のかすみ、光がまぶしく感じる、視力の低下
血栓症 けっせんしょう	吐き気、血を吐く、腹がはる、嘔吐、胸の痛み、胸をしめつけられる感じ、激しい腹痛、出血、足の激しい痛み、知覚のまひ、胸を強く押さえつけた感じ
再生不良性貧血 さいせいふりょうせいひんけつ	階段や坂を上る時の動悸や息切れ、鼻血、動悸、息切れ、あおあざができる、めまい、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	発熱、のどの痛み
幼児・小児の発育抑制 ようじ・しょうにのはついくよくせい	発育低下

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	かぜのような症状、からだがだるい、力が入らない、けいれん、筋肉の痛み、骨折しやすくなる、関節の痛み、発熱、疲れやすい
頭部	考えがまとまらない、ぼんやりする、めまい、意識が乱れる、意識の混乱、意識の低下、頭痛
顔面	鼻血
眼	白目が黄色くなる、眼の痛み、視力の低下、眼のかすみ、光がまぶしく感じる

部位	自覚症状
口や喉	吐き気、血を吐く、歯ぐきの出血、嘔吐、のどの痛み、のどが渇く
胸部	吐き気、階段や坂を上る時の動悸や息切れ、胸やけ、胸の痛み、胸をしめつけられる感じ、胸を強く押さえつけた感じ、息切れ、動悸
腹部	吐き気、腹痛、食欲不振、激しい腹痛、胃・おなかの激しい痛み、腹がはる、胃もたれ
背中	腰・背中での痛み、背中の痛み、背部痛
手・足	手足の痛み、膝の関節の痛み、歩行障害、太ももの前面の痛み、関節の痛み、歩くときや立ち上がるときの股関節の痛み、足の激しい痛み
皮膚	皮膚が黄色くなる、あおあざができる
筋肉	筋肉のこわばり、筋肉の痛み、筋力の低下
尿	尿量が多い
その他	気分が落ち込む、気分がふさぎ込む、やる気がおきない、どうしたらよいかわからない、夜中に目がさめる、眠りが浅い、不眠、情緒不安、上機嫌、低血圧、判断力の低下、体重減少、出血、出血が止まりにくい、知覚のまひ、発育低下

## 【この薬の形は？】

形状	円形の錠剤 
直径	6.0mm
厚さ	2.9mm
重さ	90mg
色	白色
識別コード	SW 6 2 3

## 【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ベタメタゾン、 d-クロルフェニラミンマレイン酸塩
添加物	結晶セルロース、ステアリン酸マグネシウム、乳糖、ヒドロキシプロピルセルロース

## 【その他】

### ●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

### ●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

## 【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。

- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：沢井製薬株式会社 (<http://www.sawai.co.jp>)

くすり相談窓口

電話番号：0120-373-381

受付時間：9時～17時

(土、日、祝日、その他当社休業日を除く)